

PTA のおしごとってどんなこと ～副会長編～

会長を支えながら、PTAを影でまとめるキーパーソン！？

今回は副会長のお仕事にググッと迫ってみました！

副会長 A

月に一度の運営会議で司会進行を担当します。

会議では各役職から活動報告が行われるため、それらをあらかじめ書類にまとめるのも副会長 A の役目です。

さらに、会議中の話し合いの内容をボイスレコーダーで録音し、次回までに議事録を作成する“書記”としての役割も担っています。とはいえ、録音されているからといって安心できるわけではありません。

「今、誰が話してる?」「うっすらしか聞こえない!」と、再生しながらひとり推理ドラマ状態になることも(笑)

それでも毎回、話の流れを丁寧にくみ取りながら、「あ、こんなこと話してた!」と思えるような、ポイントを押さえたわかりやすい議事録を毎回きっちり仕上げてくれています。

会議の空気をまとめ、記録として形に残す副会長。まさに、PTA の裏舞台を支える、縁の下の実力者です！



本部と各委員会の“連携プレー”のカギを握るのも、副会長のおふたり！

委員長さんたちの報告を受け取り活動がスムーズにつながるよう、実は見えないところでしっかりサポートしてくれています。

副会長 B

県内の特別支援学校 PTA が集まる「県知 P」の窓口役。

年に数回の会議に出席し、他校の保護者の方々と意見交換をしたり、必要に応じて本校の様子を共有したりしています。

県知事 P では、県の教育委員会に対して「要望書」を提出することが大きな目的のひとつ。日々の学校生活で感じた保護者の声や、現場の困りごとを、県全体の意見として届ける大切な役割も担っています。

他校の取り組みに驚いたり、共通の悩みに共感したり…と、ちょっとした情報交換が大きなヒントになることも。「うちもそうなんです！」なんて話が出ると、ホッとしたり、元気をもらえたり。

また、県知 P で得た情報は、学校や本部メンバーにも丁寧に共有してくれるので、日々の活動にもつながっています。

まさに、校内と外のつながりを生み出す、「情報のかけ橋」的な存在です。

[illegible]

次回は会長と番外編を特集します♪